

雄勝を再び「石のまち」に 石の魅力を多くの人へ届けたい

【石巻市】雄勝硯生産販売協同組合



震災後、原料となる石を採掘していた山に入ることができず、被災した石を集めて製品をつくっていました。採掘していた山までの道が整備され、これから新しく石を採れるようになれば、東京駅や北海道庁などに使われているスレート(屋根材)の生産を再開させることができます。また、MY硯体験では、地元雄勝を始めて毎年300人近くの県内の小学生が自分でデザインした硯を、職人が一つ一つ彫り上げていきます。小さいときから硯に触れることで、石の良さを知っている人を増やして、雄勝の伝統を未来に生かすことにつながってほしいです。昨年5月に雄勝硯伝統産業会館がオープンしたことが、産業としてだけでなく、文化として「石のまち雄勝」を盛り上げていくきっかけになればと思います。



雄勝硯生産販売協同組合
遠藤 耀一さん

「復興へ」それから

平成23年から県政だよりで連載してきた「復興へ」で過去に取り上げた団体の「それから」を紹介します。

復興は地域や仲間のおかげ みんなで良くなるまちを目指して

【南三陸町】復興市実行委員会



復興市は東日本大震災発生後の50日後、4月末から始まりました。あんなに早く始められたのも、全国の商店街の仲間がテントや売る物などを持って応援に来てくれたからです。復興市があったから、みんなで商売を続けていくことができたのだと思っています。地元のお祭りを復興市に集約して毎月開催し10年間続けてきました。100回記念開催は当面延期ですが、これからは次の世代を担う人と共に、新しい復興市として地域の想いを継承していきたいです。



復興市実行委員会
委員長
山内 正文さん